

マイアミでシップウォッチング(その2)

2024-3-24 事務局長 池田良穂

先のニュースで配信した(その1)では、3月23日の朝にマイアミ港に並ぶクルーズ客船群の写真を紹介しましたが、各船の撮影もできました。以前はマイアミ市とマイアミビーチ市をつなぐ海上道路は自動車専用道でしたが、その脇に自転車道ができて、歩行者も通れるようになっていました。それまではタクシーの車窓からか、マイアミ港巡りの遊覧船に乗らなければ、マイアミ港に停泊するクルーズ客船の写真は撮りにくかったのですが、この歩道ができて各船の撮影も容易にできるようになりました。



3月23日の金曜日には、手前から「アイコン・オブ・ザ・シーズ」、「ノルウェー جان・ジョイ」、「MSC シースケープ」、「カーニバル・サンライズ」、「カーニバル・マジック」が並びました。



RGIの最新鋭船で、世界最大のクルーズ客船「アイコン・オブ・ザ・シーズ」です。LNG燃料をバンカリング中です。



NCLの「ノルウェー جان・ジョイ」です。



MSCの「MSC シースケープ」です。船首のブリッジの下のデザインがユニークです。



CCLの「カーニバル・サンライズ」です。



CCLの「カーニバル・マジック」です。



金曜日の夕方、16～18 時の間に、港で乗客を満載したクルーズ客船は、次々とマイアミ港を出港してカリブ海クルーズにでかけました。その先陣は「MSC シースケープ」でした。生憎、小雨が降り出して視界が悪くなったときだったので、一寸、残念でした。



雨の中を出港する「ノルウェー جان・ジョイ」です。



「アイコン・オブ・ザ・シーズ」の出港時には、薄日をもどってきました。

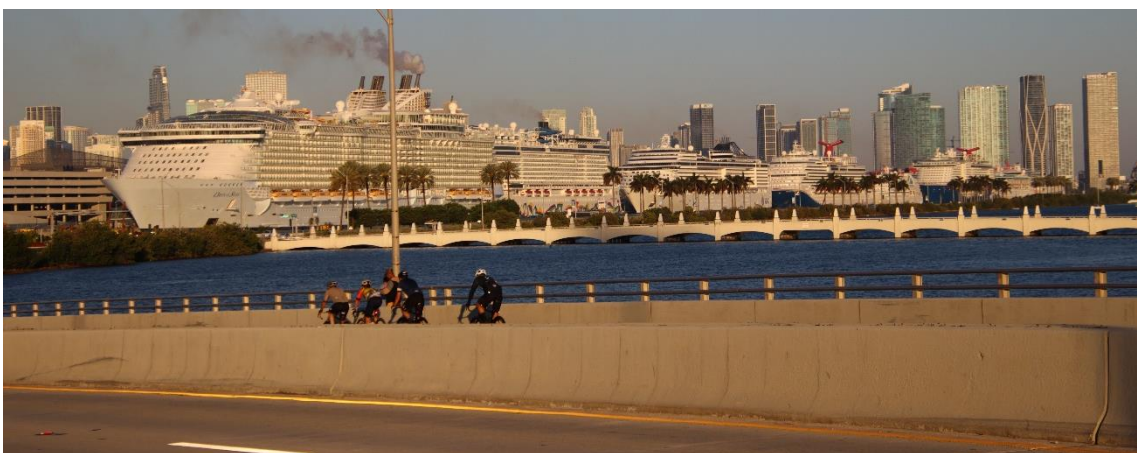


「カーニバル・サンライズ」の出港です。



雨が上がって、マイアミビーチの沖合を南下してカリブ海クルーズに向かう「セレブリティ・エクイノックス」と「プリンセス・ルビー」の姿が見えました。マイアミの 30km ほど北にあるフォート・ロダーデイルを夕刻に出港して、19 時過ぎにマイアミビーチ沖を通過しました。

3 月 24 日の日曜日の朝 4 時に目覚めて、AIS でチェックすると、「オアシス・オブ・ザ・シーズ」はすでに着岸しており、「カーニバル・セレブレーション」が入港中でした。この後、6 時までの間に、「ノルウェー・エンコア」、「MSC ディビナ」、「スカーレット・レディー」、「グランデュア・オブ・ザ・シーズ」、「カーニバル・ホライズン」、「シーボーン・クエスト」が入港してきて、マイアミ港の北側のクルーズ岸壁はほぼ埋まりました。「オアシス・オブ・ザ・シーズ」の停泊する岸壁の左側に、現在、クルーズ岸壁を延長する工事が行われています。



マイアミビーチの南端にあるビスケー湾入り口に架かる道路橋の上からマイアミ港のクルーズ岸壁を望みました。白い橋はスター・アイランドへの連絡橋です。



マイアミのクルーズ埠頭に並ぶクルーズ客船群です。左から「オアシス・オブ・ザ・シーズ」、「ノルウェージャン・エンコア」、「MSC ディビナ」、「カーニバル・ホライゾン」、「シーボーン・クエスト」、「カーニバル・セレブレーション」、「グランデュア・オブ・ザ・シーズ」、「スカーレット・レディー」。